



『第3回 和泉の地域医療を考えるシンポジウム』 開催のご報告

10月15日(土)、『第3回 和泉の地域医療を考えるシンポジウム』をハイブリッド形式で開催いたしました。お忙しい中、ご参加くださいました皆様には心より御礼申し上げます。当日は会場参加46名(医療・介護、行政、企業関係者の方々)、オンライン参加54名、計100名の方にご参加いただき『治療と仕事の両立支援推進のための今後の取り組み』をテーマに、基調講演ならびにパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは各組織の支援体制や事例をまじえながら活発な意見を交わし、今後の両立支援推進に向けて地域一丸となる機会となりました。これからも、地域の皆様とより良い連携、情報共有を行って行く所存でございます。

至らない点があるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



パネルディスカッション
(左上から 和泉市 辻市長、和泉保健所 狭間所長、大阪母子医療センター 宮川看護部長
左下から 和泉商工会議所 山本会頭、松下病院長、コーディネーター 藪井主任)



松下病院長による基調講演
『今知ってほしい。治療と仕事の両立支援』

地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター (毎月1回発行)
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



～ 専門・認定看護師のご紹介 ～

大切にしていること
その人が持つ価値観を
ともに大切にする



がん患者相談
支援センター

Cancer Patients
Consultation Support
Center

緩和ケア認定看護師
岩谷 理佳子

サロン 和



骨塩定量検査 の検査予約を承っております

診察・検査予約依頼書の口骨塩定量(身長: cm / 体重: kg)に☑し、身長と体重を記入後、FAXいただければ予約票を返信させていただきます。

検査時間は
10分ほどで
終わります!

検査日時: 月～金曜日 9:00～16:00

お好きな時間に8番地域連携センターにお越しください。

11月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ(休診案内)をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9:00～19:00まで
土曜日 9:00～13:00まで
(但し祝日・年末年始の休日は除く)
TEL:0725-41-3150 (直通)
FAX:0725-41-2513 (直通)

お仕事紹介

主にがん相談支援センターの看護師として、相談者に正確な情報を伝え、相談者自身の気持ちや考えを整理し、望む選択ができるよう支援しています。また、がん看護外来を担当し、治療方針決定～治療中の過程における意思決定支援や気がかりへの支援、症状緩和、家族ケアを医師と協働して行っています。

認定看護師を目指したきっかけ

化学療法の副作用を乗り越えようと精一杯自分の病氣と向き合っている患者さんの姿に心を打たれました。そして、治療を受けながら、がんによる痛みなどつらい症状に苦しむ患者さんに看護師として援助できることをみつけたいと思ったことがきっかけです。

医療関係者の皆様へ

私は、緩和ケアが必要とされる患者さんが住み慣れた地域で望む過ごし方ができるよう、地域の医療従事者の方々と顔が見える関係を強め、連携していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

内分泌・糖尿病内科からのご案内

平素より大変お世話になりまして有難うございます。

現在、当科は糖尿病専門医及び内分泌代謝科専門医資格を有する常勤医2名で糖尿病をはじめ内分泌代謝疾患全般の診療にあたっています。

超高齢社会となり糖尿病患者の増加により、細小血管障害のみでなく動脈硬化疾患、感染症などの合併症増加が問題となっています。当科では糖尿病の病型、インスリン分泌・抵抗性及び合併症を評価し適切な治療法を選択しています。インスリン導入は原則として入院で行っていますが、外来インスリン導入、自己血糖測定指導も行っています。また、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士など多職種による糖尿病チームで入院患者さんの教育指導を実施しています。必要に応じ持続血糖測定（FGM）を用いて安全で適切な血糖降下療法を実施しています。コントロール困難な1型糖尿病ではインスリンポンプ治療も行っています。

甲状腺疾患についてはバセドウ病、橋本病等の機能異常及び甲状腺腫瘍の診断・治療を行っています。甲状腺機能異常症は早急に確定診断し治療開始しています。甲状腺腫瘍は主に超音波検査と吸引細胞診で診断し、手術適応は甲状腺疾患セン

ターカンファレンス（耳鼻科、病理診断科と当科）で検討しています。

他に下垂体、副腎疾患など多数の内分泌難病を診断・治療・難病登録を実施しています。

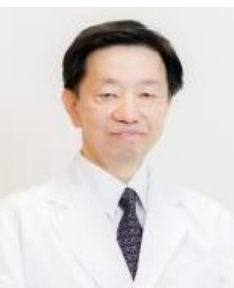
甲状腺、下垂体、副腎疾患においてはアイソトープ検査や負荷試験など一般病院では実施し難い検査を用いて正確な診断を心がけています。

内分泌代謝緊急症である糖尿病性ケトアシドーシス、甲状腺クリーゼ、副腎クリーゼ、高カルシウム血症クリーゼ等にも対応しています。

現在、担当医が少ないため緊急に対応できない場合もございますが、糖尿病のみならず甲状腺疾患、内分泌難病の診療を行っていますので、患者様をご紹介頂きましたら幸いです。特に糖尿病診療におきましては、病診連携・病病連携を通して地域全体の糖尿病コントロール改善と合併症予防に貢献したいと考えております。

今後ともご指導、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

内分泌・糖尿病内科 副院長 大野 恭裕



和泉市立総合医療センター 内分泌・糖尿病内科
副院長 大野 恭裕(おおの やすひろ)

〈資格〉

医学博士 / 日本糖尿病学会 専門医・指導医 / 日本甲状腺学会 専門医
日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 / 日本肥満学会 専門医・指導医
日本病態栄養学会 病態栄養専門医・指導医 / 難病指定医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 / 日本内科学会 認定内科医・指導医
日本臨床免疫学会 免疫療法認定医

外来診察予定表

受付時間は8:00~11:30です

	月	火	水	木	金	土
午前	田中	大野	大野	田中	大野	-

対象疾患

糖尿病	1型糖尿病、2型糖尿病、その他の型(糖尿病)
代謝疾患	脂質異常症、高尿酸血症、痛風など
下垂体疾患	下垂体機能低下症、先端巨大症、クッシング病、プロラクチノーマ等
甲状腺疾患	バセドウ病、橋本病、甲状腺腫瘍(良性・悪性)
副甲状腺疾患	副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、高カリシウム血症
副腎疾患	副腎不全、クッシング症候群、褐色細胞腫など
他の内分泌疾患	膵内分泌腫瘍(インスリノーマ等) 性腺疾患(Klinefelter症候群、Kallmann症候群など)

診療実績

診察患者数

		2020年	2021年
外来患者数		2,510人	2,849人
入院患者数		193人	170人
疾患別 内訳 (%)	糖尿病	68.4%	63.8%
	副腎疾患	14.0%	11.4%
	下垂体疾患	8.3%	7.0%
	他の内分泌疾患	2.6%	4.9%
	その他	6.7%	14.0%

甲状腺超音波検査/エコーガイド吸引細胞診

	2020年	2021年
甲状腺超音波検査(件数)	1,040	1,244
甲状腺吸引細胞診(件数)	142	171



世界糖尿病デー Web講演会開催のお知らせ

当院では世界糖尿病デーに併せて、糖尿病について理解を深めていただくためにZOOMを使用したWeb講演会を開催いたします。詳細は別紙ご参照ください。

日時:令和4年11月11日(金)14:00~16:00

また11月7日(月)~11月18日(金)の間、当院2階エスカレーター前にて資料展示、配布も行っております。

